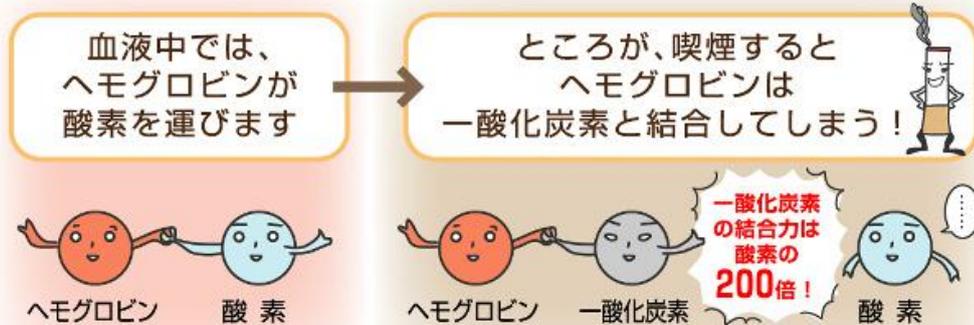


# 週刊 タバコの正体

前回、タバコの煙に含まれる一酸化炭素(CO)は免疫力を低下させる事を紹介しましたが、今回はもっと怖い「一酸化炭素」の話をしていきましょう。



メディマガ..糖尿病から

まず、左図を見て下さい。血液中のヘモグロビンは酸素を運ぶのが本来の役割なのですが、じつは一酸化炭素との結合力の方がはるかに大きく、なんと酸素の200倍もあるのです。だから、吸い込んだ空

気に一酸化炭素が含まれていると、簡単にヘモグロビンが奪われてしまいます。でも、通常の大気中にはほとんど一酸化炭素は含まれていないため、ヘモグロビンは酸素と結合している訳です。

では、もし何らかの原因で空気中の一酸化炭素濃度が高くなると、どうなるのかを示したのが下の図です。空気中の一酸化炭素の濃度が0.04%でも頭痛や吐き気を感じ、0.16%では2時間で死亡、さらに1.28%を超えると3分以内で死亡するとされています。

CO (一酸化炭素) は無色、無臭。つまり、見えない、臭わない。気が付いたときは動けなくなります。

**注意!**

**こわ~いCO (一酸化炭素) 中毒について**  
空気中の一酸化炭素濃度と吸入時間による中毒症状

1.28%	1~3分間で死亡
0.32%	5~10分間で頭痛・めまい 30分間で死亡
0.16%	20分間で頭痛・めまい・吐き気 2時間で死亡
0.04%	1~2時間で前頭痛・吐き気 2.5~3.5時間で後頭痛

ガス警報器工業会 HP から

このような症状は“一酸化炭素中毒”と呼ばれていて、閉め切った部屋でストーブなどを長時間使い続けると起こりやすい現象です。換気するなど十分な注意が必要です。タバコの煙にもこんなに怖い「一酸化炭素」が含まれているので、気をつけましょう。

産業デザイン科 奥田 恭久